

# 学校教育支援専攻(修士課程)

## 1. 入学者受入方針(求める人材像)

各専修では、以下のような人を求めています。

### (1)教育臨床心理専修

教育臨床心理専修は、家庭・学校・社会にみられる子どもの教育的、臨床的諸問題を教育臨床心理学の視点から理解し、分析し、その解決法を修得していきます。また日常の生徒指導・教育相談場面において遭遇する具体的な問題に対処するための専門的な心理学的・臨床的対応能力を育成します。あわせて、障害児・者に関する教育学的、心理学的、生理学的な理解を深めるとともに、特別支援教育に必要な専門的能力を養います。

したがって、本専修では次のような人を求めています。

- ア. 教育心理学や臨床心理学の専門的な知識と技術を身につけた教員を目指している人
- イ. 特別支援教育の専門的な知識と技術を身につけた教員を目指している人
- ウ. 教育心理学や臨床心理学または特別支援教育の研究に強い向上心をもっている人

### (2)日本語支援教育専修

国内外における日本語支援が高まりを見せています。国内の学校教育の現場においては、外国人児童生徒および帰国児童生徒が増加しており、生活指導・教科指導のための日本語支援能力を身につけた教員が必要になっています。急増する在住外国人に対する日本語支援も日本社会の重要な課題です。海外における日本語学習者支援の需要も増える一方です。日本語支援専修では、全国的にも稀な幅広い領域の教育内容を提供する中で、このような国内外のニーズに応える日本語支援教育専門家を養成します。

したがって、本専修では次のような人を求めています。

- ア. 外国人児童生徒および帰国児童生徒に対する生活指導・教科指導のための日本語支援に必要な知識・能力を身につけたい人
- イ. 学校教育以外の場においても在住外国人への日本語支援を行いうる知識・能力を身につけたい人
- ウ. 海外においても日本語教育に従事し、日本の文化発信に寄与できる力を養いたい人
- エ. 世界各地域の言語・文化を学ぶことにより、多文化理解の素地を身につけ、学校教育現場における国際理解教育の推進、また広く国際交流に貢献できる力を身につけたい人
- オ. 外国人留学生で、日本語教師として活躍したい人

## 2. 入学者選抜の基本方針

下記のような基本方針にもとづいて入学者を選抜します。

- ①学力検査(口述試験等を含む)及び出身大学の成績証明書の結果を総合して評価します。
- ②入学志願者の学習経歴に応じた学力検査を課します。
- ③入学志願者の実績等により学力検査の一部の代替を認めることがあります。